

ドイツ連邦食料・農業省プレス公告
Bundesministerium für Ernährung und Landwirtschaft
NO 19

NO 19

2015・5・9

1 G-20 農業大臣会議がイスタンブールで開催
ー食料の浪費を無くすための行動に合意をー

持続的な食料システムを創り、そして食料の無駄を食い止める。これはイスタンブールで 2015 年 5 月 8 日に開催された G-20 の農業大臣会議の目的である。” 2015 年までに 90 万人以上に増大する世界人口に直面して、我々の自然的生存基盤とともに、現在そして来たるべき世代の食料を確保することが重要である” と、連邦大臣シュミットが述べた。” 食料の浪費と喪失を、最低限に抑える” ことがこれに加わる。なぜならば、特に水、エネルギーの節減、そして温室ガスの特記すべき量を、削減できるからである” と、シュミットが強調した。

この農業大臣会議は、G-20 の歴史で 2 回目である。2011 年にパリにおける農業大臣会議の基礎を、さらに前進させたものである。” ここで我々は目標を設定して、さらに進んで行きたい。透明性を通じた研究または価格安定の適切な調整を伴った行動プラン（パリで設定した）は、効果的に実施されている。我々は今、この歩みを進めそして持続的な食料システムのさらなる発展を、専門的に不可欠な評価によって強化する” と、シュミットが述べた。この際、開発ー農業専門家の努力が求められる。

この会議は、より良き世界食料のために、シュミット大臣の尽力の線上にある。彼は既に、北京におけるドイツー中国農業センターと、ザンビアにおける農業トレーニングセンターをオープンさせた。ドイツ連邦農業省のデモンストレーション計画において、持続的な生産プロセスを機能させ、そして組み立てられるように現地での実践的な展示を通じて、知識を伝達する。さらに連邦農業省は、双方向的な共同プログラムにおいて、将来を指向したそして持続的な農業経済の課題において、助言することを目指している。

既に1月のベルリンにおけるグローバル食料と農業フォーラムにおいて、大規模な農業大臣会議に際して、将来の人々に広範な食料供給を可能とするために、以下のことを合意した。つまり、60人以上の各国同僚大臣とともに、持続的、多面的な農業と食料システムの必要性並びに持続的な生産方法の普及である。

2 連邦政府の奨励は持続的なバイオ経済に焦点をあてる

ー新しい奨励プログラム・再生可能な原料を公表ー

連邦政府は、5月7日に再生可能な原料の分野における研究、普及、デモンストレーション奨励のための、新しいプログラムを公表した。これは現在、連邦政府から6,000万ユーロ（約78億円）弱でもって奨励されており、2008年から同名の奨励プログラムから、交替したものである。連邦大臣シュミットは、これについて説明した：“この新しい奨励プログラムは、連邦政府のバイオ経済戦略でもって、なお一層強力に再生可能な原料分野において、研究とその普及奨励を組み合わせたものである。”

これまでよりも奨励プログラムが、持続性、効率性そして社会的対話に関して、より一層の刺激を明らかに考慮したものである。”我々は、バイオ経済を強化したい”と、シュミットが続けた。そしてその際、食料の持続性が確保されるべきである。この度改訂された「再生可能な原料」奨励プログラムの目的は、持続的なバイオ経済のさらなる発展である。そのために、連邦政府は革新的でかつ国際競争力のあるバイオを基礎とした産物、並びにその生産のための革新的な製法に関する研究方法を支援する。

このプロジェクトは、もはや環境ー資源ー気象保護、そして農ー林業の強化のみならず、社会的に受け入れられるバイオ経済と、生物多様性の保持を奨励するものである。リサイクル、資源の多段階利用そしてバイオ精油所のような不可欠な利用構想が、なお強調されるべきである。

3 今週の数字：**358 000**のペレット暖房装置が、暖房シーズンに住居及び他の建物を暖めた。

その際、のこ屑と他の残材を一緒の形にして燃料に用いる、近代的そして高度な効率性と大気汚染の少ないバイオマス施設が、運転される。木材ペレットの製造は、ドイツ全域で約50の木材ペレット工場で、実施されている。木材ペレットは、規定によって約1～5cmの長さの個体に圧縮される。その際、最終製品の認可は、コンスタントに高品質を保証する。

2014年にドイツでは、230万tの木材ペレットが生産され、そして180万tが消費された。さらにドイツの製造業者は、近隣国に木材ペレットを輸出している。連邦政府は、再生可能な熱エネルギーの割合を、現在の10%から2020年に14%まで増加させる目標を追求している。そのため、連邦政府は、再生可能な暖房の市場刺激プログラムの中で、ペレット暖房を奨励している。

2015・5・11 訳 青森中央学院大学 中川 一徹
